

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野第三小学校	校長氏名	小田原 かおり	生徒指導主事氏名	上田中 泰子
-----	-------------	------	---------	----------	--------

**取組事例名 『V・S(ボランティア・サービス)朝会』**

**取組のねらい『異学年交流・協力・責任感』**

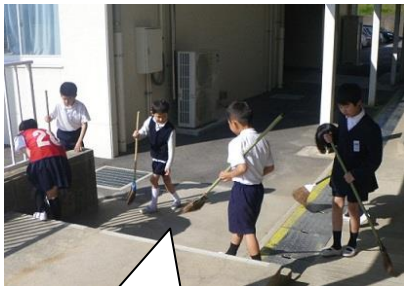
- ・ともに働いたり、かかわったりする活動を通して、他学年との交流を大切にする。
- ・協力することの大切さを学ぶ。
- ・高学年としての自覚や責任感をもつ。

**取組の具体的内容『学校のため・みんなのため』**

毎月第3木曜日 8:15～8:25

その月の担当者(6年生・委員会)が考えた活動を縦割り班で行う。

5月「掃除」



普段の掃除ではできにくい所を見つけて、きれいにしました。

6月「読み聞かせ」



梅雨の時期なので、教室で読書が楽しめるように、絵本の紹介をしました。

7月「草ぬき」



運動場の草がのびてきたので、環境委員会の提案で草ぬきをしました。

9月「石ひろい」



運動委員会の提案で、運動会のために石ひろいをしました。

10月「折鶴づくり」



6年生が社会見学で平和公園へ行くので、みんなで折鶴をおりました。

11月「落ち葉ひろい」



学習発表会が近づきました。落ち葉ひろいをして学校をきれいになりました。

12月「大掃除」



年末なのでみんなで特別教室の大掃除をしました。

1月「正月遊び」



1月といえばお正月。かるたやすごろくをして遊びました。

## 取組の課題・創意工夫『気づき、考え、実行する』

- ・毎年新しい縦割り班を形成する際、配慮を要する児童に関してしっかり情報交換する必要がある。  
→初めての縦割り班活動を5月にした。
- ・活動内容は、昨年度の活動例を参考に6年生が考える。学校のため、みんなのためにどんなことをしたらよいか気づき、考え、実行できるようにする。→話し合いの時間を確保できるようにした。
- ・6年生が達成感を味わうことができるようにする。→毎回、振り返りカードを書き、そこに担当者がひとことコメントを入れて、ほめるようにした。

## 取組の成果（効果）『みんな笑顔で、達成感』

- ・6年生は、リーダーとしての責任感が育ち、達成感も感じることができる。
- ・異学年で交流することで、下学年に優しく接する児童が増えた。上学年に優しくされて教室とはちがう表情を見せる児童もいる。
- ・協力することの大切さを感じることができる。

縦割り班の班長をやっとうれしかったことは、みんなの笑顔が見られたことです。活動や反省のときに「楽しかったよ。」「そうじががんばったよ。」と言って笑ってくれたときは、班長をやっとうかったなとおもいました。(6年女子)

6年生としてのぼくの目標は「みんなの手本になる」でした。特に、V・S朝会では下学年に手本を見せようと、はりきって活動しました。初めは、あまり話さなかった班の人と、だんだん仲良くなって、ぼくにっいてきてくれるようになりました。がんばってよかったなと思いました。(6年男子)

はん長のお兄さんがいつも教室にむかえにきてくれてうれしいです。やさしいです。ありがとうございます。(1年女子)

## 今後の展開『伝統の引継ぎ』

V・S朝会は5年間続いた取組です。毎年2月と3月に、6年生から5年生へ引継ぎが行われます。自分の班の5年生に方法を教え、近くでアドバイスしながら見守ります。5年生は「伝統」を引き継ぐことになり、6年生としての自覚につながります。伝統を大切にすることをつないでいきたいと思います。

## 他校へのアドバイス『縦割り班の活用』

縦割り班での活動は、V・S朝会だけではありません。本校では、縦割り昼食会や縦割り遊びもしています。1年間の活動を通して、交流が深まっていき、よりよい活動になっていくと思います。